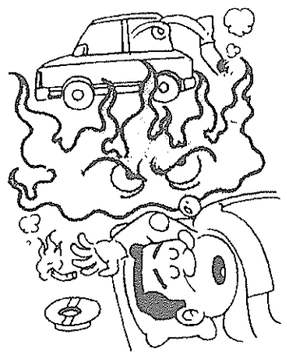
まず消そう火への鈍感無関心

春の全国火災予防運動―3月1日～7日

冬から春先にかけて、一年を通じて最も火災、しかも大きな火事が多いのをご存じですか。この時期は空気が乾燥する上、春一番に代表される強い風が続き、また、山田堰の水止めもあるなど、火災が発生しやすい条件がそろっています。

八千二百八十六万円―平成二年に南国市で十九件の火災が発生、これだけの建物などの財産が灰になり、一人の方が亡くなりました。中でも多いのが建物火災で、実に十四件。原因は、たき火の不始末や、ストーブの火が上で乾かしていた洗濯物に引火したり、天ぷらを揚げている途中でその場を離れたりといったちょっとした油断。

「どうしてあのとき・・・」こんな後悔をしないようにしてください。



知っておきたい 7つのポイント

○寝タバコとタバコの投げ捨て火事のもと

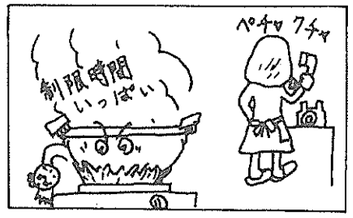
酒を飲んで寝タバコ―布団に燃え移り、火事に。また、チリ箱へ捨てたタバコが火事のもとになったケースも。

○子供の火遊び気をつけて

子供が紙切れや枯れ草に火をつけて遊んでいて火事に。マッチやライターは子供の目の触れない場所に置き、火の恐ろしさを子供に教えておくことも大切。

○たき火は風のないときに

たき火から飛び火して燃え広がったケースもありました。風の強いときはくれぐれもたき火をしないように。火が消えるまでそばを離れず、終わったら水をかけて消しましょう。



○揚げ物の途中でその場を離れない

火をつけたままで長電話をしている…。その場を離れるときは必ず火を消して。

○家の回りの燃えやすいものは火種になります

放火されない環境づくりを。

○風呂をたく前に水の確認

空だきの原因はうっかりミス。

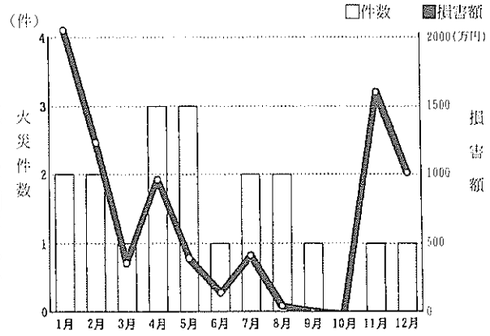
○ストーブには燃えやすいものを近付けない

家庭から 火を出さない

中村朋子南国市婦人防火クラブ連合会長

天ぷら油火災が火事の原因の上位を占めています。主婦の立場で、家庭から火を出さないをモットーに。十二月には婦人防火クラブ連合会ができました。現在会員は二百五十二人。南国市全体にその輪を広げ、初期消火の技術も身につけて、万一火が出たら近所の人と連携して、私たちができる範囲で被害が最小限になるようにしていきたいと思います。

平成2年の火災件数と損害額



一歩譲って交通安全

県下で4番目に多い事故の発生

昨年一年間に、南国市では三百六十九件の交通事故が発生。六人の方が亡くなり、重傷十二人を含む四百四十五人の方がけがをしました。人口一千人当たりの発生件数は、県下で高知市、野市町、春野町に続きワースト四。一昨年の三百九十三件（死者一人、傷者四百七十人）に比べると、件数、傷者こそ少し減ってはいますが、死者が大幅に増えるなど、交通戦争に一層拍車がかかっています。

死亡事故の原因は、酒酔い運転によるものが一人と、高速運転によるものが三人。交通三悪と呼ばれる酒酔い、無免許、高速運転が、重大事故につながりやすいことが、数字の上からも表れています。また、交差点内の事故が多く、高齢者がハンドルを握る機会が増えて、事故に遭う立場から事故を起こす立場に変わってきています。

高知県では、今年になっても交通事故が昨年の同時期より件数で三十七件増え、死者については六人も多い九人となっており、重大事故多発の傾向が改まらないため、非常事態宣言を行い、二月、三月と「交通マナーアップ作戦」を展開しています。

事故の原因はわき見運転、出会い頭などのほんのちょっとした油断なのですが、いざ加害者や被害者の立場になると「運が悪かった」では済まされません。被害者は肉体的な、また加害者は精神的な苦痛を、悪くすれば生涯引きずることになってしまいます。各自が自分の運動能力、車の性能、回りの状況を判断し、「相手に一歩譲る」「自分の命、他人の命を尊重する」という姿勢で、事故を防ぎましょう。

◇　◇

交通安全マナーアップ作戦

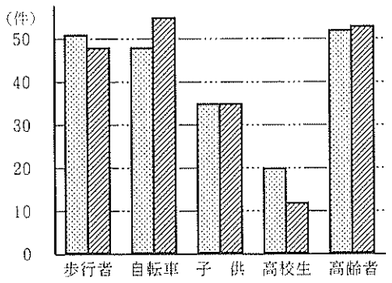
○無理な運転をせず、交通ルールをよく守り、安全運転を心がけましょう

○子供と高齢者には特に注意しましょう

○踏切では必ず一旦停止停止しましょう

注意1秒

南国署管内の事故



福を呼び込む 運転を

谷田豊喜交通安全指導員

先日南国バイパスで女性の方が車にはねられ、亡くなりました。押しボタン式信号を押すそのちょっとの手間を惜しんだためにと残念でなりません。運転者が自分を発見してブレーキを踏むまでには時間がかかります。また夜間黒っぽい服を着ていると発見が遅れることも頭に入れ、「止まってくれる」「渡れる」という〝だろう〟は慎んで、行けると思ってももう一歩下がって。

交通事故は加害者も被害者も悲惨です。そのような悲劇を多く見てきました。死亡事故を起こした場所で何日も何日も毎日土下座していた若者もいます。いい子です。それでも遺族は許してくれません。私たちには口出しのできない問題です。被害者にも加害者にもなりたくない。一秒か二秒待つことで凶を避け、福が呼べるなら私は待つことを選びます。

五分か十分家を早く出て、相手をそして自分の命を尊重し、相手が止まるだろうではなく、相手に道を譲ってあげるという考えで賢い運転者、歩行者になってください。